

とくしまスマート県庁推進プラン

令和2年度の実施



令和3年2月



両立を可能とする「新しい生活様式」の定着

全国知事会の提言

- ✓ 地方創生臨時交付金の創設・増額
- ✓ 緊急包括支援交付金の創設・増額
- ✓ 雇用調整助成金の特例措置の延長
- ✓ GoToキャンペーンの延長や柔軟な運用
- ✓ 特措法・感染症法等の迅速な改正
 - ・ 緊急事態宣言発令前でも要請・命令可能(特措法)
 - ・ 積極的疫学調査の遵守義務(感染症法) など



政策への反映

- ✓ 総額**4.5兆円**確保, 協力要請推進枠の創設
1次補正1兆円, 2次補正2兆円, 3次補正1.5兆円
- ✓ 予備費も活用し, 総額**4.6兆円**確保
1次補正0.2兆円, 2次補正2.2兆円, 予備費0.9兆円, 3次補正1.3兆円
- ✓ 雇用情勢を踏まえ**R3.2月末まで延長**
- ✓ 感染状況を踏まえ**R3.6月末まで延長**
- ✓ 1月22日閣議決定, 2月3日成立

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の防止に関する条例

- 事業者の**感染防止策の義務化**
- クラスター等発生時の**公表の流れを規定**
- 不当な**差別的取扱い**や**誹謗中傷を禁止**

県民・事業者・行政が**一丸**となって
「感染症に強い、安全で安心なとくしま」を実現



検査・診療・療養体制の強化

検査

- ドライブスルー方式による
地域外来・検査センター
県内全域4か所設置



- 県及び県内医療機関との連携による検査体制の充実
1日あたり検査数 48件→**5,500件**

- 移動式PCR検査施設の開発



中四国初

診療

- 診療検査協力医療機関
病院、医科診療所の4割を超える
313か所指定 (R3.1.19現在)

療養

- 入院受入医療機関 **12病院・200床**
- 軽症者・無症状者 宿泊療養施設
100室→**180室**に拡大
うち**30室**は「旧県立海部病院」改修分
2月末(1か月前倒し)には60室へ

機動的かつ柔軟な人事配置

- 積極的疫学調査を担う保健所などに
70名程度応援職員配置 **感染状況に応じ増員**
- PCR検査を行う保健製薬環境センターに
最大検査件数に対応可能な人員を常時確保
- 全庁で「地域外来・検査センター」
「宿泊療養施設」運営体制構築

新型コロナウイルス感染症対策PT設置

- 喫緊の課題であるワクチン接種体制の構築や
積極的疫学調査などの初動体制の司令塔機能

**感染症・疾病予防対策を一元的に担う
「徳島版CDC」に向けた第一歩**

**1月クラスター発生でも
感染者数全国4番目の少なさ
(四国最小)**

迅速な予算編成

2度目の緊急事態宣言を受け、臨時会招集
1月補正・2月補正一体的に捉えた「**15か月予算**」編成

令和2年度、補正予算を**8回**編成
累計総額 **834億円**

融資・給付金・助成金

- **新型コロナウイルス感染症対応資金**
無利子・無担保・借換可能な融資制度
・融資実績 **約1万1千件** (6月～12月末)
申請期限12/31まで→3/31までに延長
- **融資連動型給付金**
国の持続化給付金創設を導いた給付金
・給付実績 **約5,800件** (4月～12月末)
申請期限1/29まで→5/31までに延長
- **「新生活様式」導入応援助成金**
事業者の感染防止策を支援 助成率**10/10**
・助成実績 **約7,000件** (6月～12月末)
申請期限12/28まで→2/10～3/31追加受付
- **「新しい生活様式」実装推進飲食店応援金**
「ガイドライン実践店ステッカー」掲載店舗 **50万円**
「事業者版スマートライフ宣言」掲載店舗 **10万円**
申請期間 2/1～3/21
- **あん摩マッサージ、鍼灸、柔道整復**など
国に先行して感染防止対策を支援 上限**20万円**

観光・交通・農林水産業 需要喚起

- **夏のとくしま応援割** 2度の枠拡大
6/8～8/31 **4万2千人泊超**
- **冬のとくしま応援割**
12/1～2/28 **2万人泊分**
2/1から「徳島で得するケン」を組み合わせ
制度を強化
- **もっと！とくしま応援割** 上限倍増！
3/1～5/31 **3万人泊分**
- **徳島プレミアム交通券** 
46,000セット販売開始
- 徳島産「食」通販サイト「阿波ふうどE C」開設
- 小中、特別支援学校の給食に
県産高級食材「和牛・阿波尾鶏・ハモ」提供

地方へ人を呼ぶ 新次元の分散型国土の創出

全国知事会

- ✓ コロナを乗り越える日本再生宣言
～「新次元の分散型国土」の創出～



政策への反映

- ✓ 「まち・ひと・しごと創出総合戦略」
 - ・中央省庁の地方移転
 - ・民間企業の地方拠点強化
 - ・地方大学の振興
- ✓ 地方国立大学の定員増「最短R4年～」

消費者庁と連携した取組み

- 新未来創造戦略本部 開設 R2.7.30
消費者行政・消費者教育の「発展・創造」拠点
- とくしま国際消費者フォーラム2020開催



世界5カ国のエシカル消費
トップリーダーによる
メッセージをオンデマンド配信
完成試写会 R2.11.4

ニューノーマルの働き方の発信

- テレワークの普及・定着
緊急事態宣言下の東京・関西本部は約7割実施
- 徳島発祥！サテライトオフィス誘致
 - ・H30年度から総務省統計に
 - ・進出企業・関連企業 **16市町村・72社**
(R2.10時点)
 - ・デュアルスクールの推進 H28～R2 **17回**
- ワークেশョンの推進
関西会場及びオンラインセミナー開催

地方大学への人の流れを加速

- 地方大学・地域産業創生交付金 (全国7団体の1つ)
徳島大学による次世代LEDの最先端研究
 - ・新型コロナウイルス不活化**深紫外LED装置 実用化**
 - ・「Beyond5G」への**テラヘルツ, 赤外コム研究開発**

魅力あるまちづくり

- 県都のランドマーク創設
 - ・県市協調での整備「**新ホール**」
 - ・若者にぎわいの創出「**新たな青少年センター**」
→早期実現に向け「基本方針」策定
 - ・カーボ ンニュートラルをにらみ「**新駅設置**」チャレンジ

真のデジタル社会の構築

国の動き

- ✓ デジタル社会実現への取組み加速表明
 - ・ 改革関連法案準備室設置(R2.9.30)
- ✓ デジタル社会の実現に向けた改革の基本方針決定
自治体DX推進計画策定(R2.12.25)
- ✓ デジタル関連経済対策1兆円

国の動きに 即応

全国知事会の動き

全都道府県 参加

- ✓ デジタル社会推進本部設置 (R2.10.5)
- ✓ デジタル社会実現に向けた提言(R2.10.12)
 - ・ 超高速回線のユニバーサルサービス化
 - ・ デジタル人材の確保・育成
 - ・ 誰一人取り残さない (高齢者・障がい者・低所得者) 配慮 など

県「デジタル社会推進本部」の設置 R2.11.17

- オンライン化による利便性の高い「**行政システムの変革**」
- 誰もが恩恵享受「**ユニバーサルな環境整備**」
- **5G等を活用した「地域課題解決の加速**」
→ **アクションプラン策定** (R2年度中)



行政手続のオンライン化

電子申請・届出システムの利用拡大 **8倍に増加**

H21年度 2,574件 → R2年度 **20,347件** (12月末時点)

- 見積書・請求書のオンライン受付開始
- 申請書など各種様式の見直し

県庁バックオフィスのデジタル化

電子決裁の推進

H22年度運用開始 → R元実績 **84%**

RPAによる業務効率化

H30実証実験開始 → R2.9時点 **58業務**

- 会計事務の電子決裁化
- AI・RPAの更なる活用

デジタルデバイドの解消とデジタル社会を支える基盤の構築

徳島発の 政策提言

政策への反映

- ✓ マイナンバーカードを利用したサービスの展開
健康保険証（今年3月～）・運転免許証との一体化（令和6年度末目標）
- ✓ 地域におけるデジタル活用環境の整備
「デジタル活用支援員」による助言・相談

ヒューマンインターフェースの配慮

- 高齢者・障がい者への対策
 - ・シルバー大学校大学院におけるICT講座
 - ・障がい福祉サービス事業所等へのICT導入支援
- 多言語対応
 - ・とくしま丸ごとAIコンシェルジュ
 - 多言語対応FAQシステム 24時間365日対応

GIGAスクール構想の推進

- 本県では、公立・私立高校、専修学校高等課程、支援学校高等部を加えた
1人1台端末の小中高一貫体制により
個別最適化された学びの推進
- 徳島中央高校 ↔ 海部高校
通年で遠隔授業



「マイナンバーカード」取得促進

- 県版プレミアムポイント事業
国のマイナポイントと
県独自のプレミアムポイントを合わせて
最大8,000円分のポイントを付与



9月～12月のカード申請率・交付率**全国1位**
交付率約24%(R3.1.1現在) 全国平均と同等
更なる取得を促進

デジタル人材の育成

- ICT・プログラミング教育アドバイザー制度
プログラミング教育に関するスキルを持つ人材を登録
教育現場とマッチング
- プログラミング教育出前授業(小・中学生対象)

先端技術を駆使したデジタルトランスフォーメーションの加速

DXを切り拓くローカル5Gの実装

ローカル5G開局 R2.11.17

5Gエンジニア育成拠点(中央テクノスクール)

万代庁舎など計10か所に基地局整備(R2年度)

ローカル5Gの全庁展開
社会実装へ



5G 遠隔医療の実装

- 県立病院間に**5G通信環境を整備**し、「徳島医療コンソーシアム」連携病院への展開を見据えた**遠隔医療のツールを実装**

- 総合看護学校における中央病院との遠隔授業



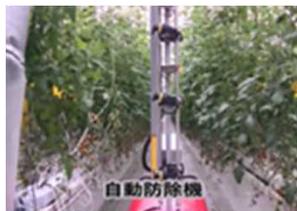
5G スマートファクトリーの推進

- 工業技術センター（5Gオープンラボ）における企業・大学の研究開発の推進
- デジタル技術の活用促進による企業の5G実装・DXの推進

スマート農林水産業の推進

- 作業の自動化による省力化など導入したスマート技術の効果を実証

- ローカル5Gエリアにおける**遠隔栽培指導システムの実装**



ICT建設工事の普及・促進

- i-Constructionの推進による建設工事の生産性向上



ICT建設機械
3次元データの活用



ドローンの活用



「遠隔臨場」の試行
(遠隔での監督・確認)

持続可能な脱炭素型ライフスタイルへの転換

自然エネルギー協議会提言

自然エネルギー最大限導入に向けて

- ✓ 国の第6次エネルギー基本計画へ
 - ・ 自然エネルギーの意欲的導入目標の設定 (2030年比 40%超)
 - ・ 明確に「主力電源」に位置づけ



国の動き

菅首相「**2050年カーボンニュートラル**」表明

- ✓ 「国・地方脱炭素実現会議」の開催
- ✓ 「グリーン成長戦略」の策定
- ✓ 「第6次エネルギー基本計画」策定開始 (現計画目標・2030年22~24%)

常に全国をリードした取組み

- **全国初**・脱炭素社会の実現を掲げた「**すだちくん未来の地球条例**」制定(H28)
- R元 7月「自然エネルギー立県とくしま推進戦略策定(2030年度・自給率50%)」
- R元11月「**2050年温室効果ガス排出実質ゼロ**」宣言

水素社会実現に向けた取組み

- **全国初**の燃料電池パトカー運用開始
- 地産水素を活用した供給拠点の構築
 - ・ 東亜合成株式会社と連携協定締結
 - ・ 「固定式水素ステーション」 R3完成予定
- 「走る大型発電所」燃料電池バス R3 中四国初 路線導入



ゼロカーボンシティの実現に向けた取組み

- 「**プラごみゼロ**」とくしまスマート宣言 県民総ぐるみで機運を醸成
- 自立・分散型電源 導入拡大 津波避難ビル「**エコみらいとくしま**」に蓄電システム導入
 - 平時→自己消費
 - 自然エネで電力調達
 - 災害時→自立的電力供給



活力ある地方を創るとくしまモデル

地域の未来を担う人づくり

若者が徳島の魅力を実感

- リスタート「新しいとくしま暮らし」
県外大学生の転入学者を支援
最大50万円

徳島で学び
働き,暮らす

- 「AWAIRO@LINE」で情報拡散
若者がふるさとと繋がり続ける仕組み
→登録者数「2,100人」突破!



- 高大連携による講座
阿南光高・新野キャンパス(徳大BIRC)での
微生物学や遺伝子工学の
講座実施 (6講座:17時間)



- 施設園芸アカデミー
新たな施設園芸の
エキスパートを育成
(1期生41名)



ダイバーシティとくしまの実現

多様な活躍の場・支援の提供

- 「アクティブシニア地域活動支援センター」開設
- 「障がい者アート常設展」開設
- ひきこもり地域支援センター
「きのぼり」のサテライトを
県南・県西4保健所に開設
→ 本人・家族の相談や支援を強化
- 全国初・県立夜間中学「しらさぎ中学校」
R3.4.7開校
→ 義務教育の学び直しを志す生徒に
年齢や国籍を問わず学ぶ喜びを
- 「国府支援学校」改築に向けた実施設計に着手
→ 「ダイバーシティ先導モデル」に



臨時会見にも

必要な方への情報伝達

- 知事記者会見動画に
手話通訳を常備



職員の能力を最大限引き出す環境を実現

働き方改革

仕事と生活を両立できる職場環境づくり

- スリーボス宣言（レスボス・イクボス・ワークボス）
- 男性職員の育児休業の取得促進
(H26:2.7% → R元:15.7%)
- 不妊治療休暇の創設 R3.1.1導入
- 多様な勤務形態の導入 R3.4.1導入予定

職員のテレワーク環境の拡充

- 個人所有端末の利用による在宅勤務の利便性向上
- オンラインによる職員研修や予算要求ヒアリングの実施



オンラインによる
予算ヒアリング

とくしまウインターブレイク

- 年末年始休暇の分散取得,
新たな過ごし方を発信
12/26～1/11の間 3日の特別休暇創設

組織体制の強化

多様な職員の採用

過去最大
210名程度

- 新規採用職員の積極的な採用 (R3.4月)
→「3つの国難」に対峙する体制確保
→新型コロナによる雇用情勢の悪化に対応
→「県外社会人枠」によるとくしま回帰の推進
- 「就職氷河期世代」対象の採用試験
→徳島県職員として「リスタート」
- 鳥インフルなど動物由来感染症への対策を担う
公務員獣医師の確保
「特定獣医師職給料表」新設（事実上・全国初）

職員の健康管理

- 新型コロナ対応、鳥インフル対応職員向け
ストレス対処法の発信
- 医師等によるメンタルヘルス相談の実施
- 生活習慣を見直す「特定保健指導」
H30 26.2% → R元 36.2%

Withコロナに対応した職員のモチベーションを高める研修の充実

策定方針

- 「スマート県庁」実現に向けた「デジタル人材」の育成
- 職員の専門能力向上やキャリア支援
- 若手職員のキャリア形成
- 国際化時代に対応できる「人財」育成

重点事項

- デジタル人材の育成
- 自治体職員としての資質の涵養
- 多様な分野の体験型研修の創出
- 若い世代における防災研修の推進
- 政策形成能力の向上

新たな実施体系

- オンライン研修の環境整備を進め、多様な研修体系の強みを活かした「ハイブリッド型」研修体系を構築



防災士資格の取得講習



県下各地での体験型研修

R3年度 新規研修

- **新規採用職員**
ダイバーシティ推進
徳島の地域資産
行政実務へのDX導入
- **主任主事**
業務の効率アップ
- **係長**
タイムマネジメント
- **課長補佐**
デジタル活用
- **管理職**
部下のマネジメント

若手タスクフォースの活用

- 若手職員が、持ち場にとらわれず、幅広い視野や知識を身につけるため全庁的に活用
- 「新型コロナ対策政策創造・情報発信タスクフォース」など
R2年度 18のTFが活動

切迫する「大規模災害への備え」を一層強化

全国知事会の提言

- ✓ 国土強靱化3か年緊急対策 5か年へ
- ✓ 「緊急浚渫推進事業債」対象事業の拡充



政策への反映

- ✓ 国土強靱化**5か年加速化対策・15兆円**
- ✓ 「緊急浚渫推進事業債」対象施設に「防災重点農業用ため池等」を追加

県土強靱化 徳島県の成果

**総額333億円
集中投資**

- 国土強靱化3か年緊急対策
河川・砂防・道路など幅広い分野で実施



河道断面拡大,堤防強化により洪水氾濫を防止!

新防災センター（徳島中央警察署）供用開始

R3.3.1

- 万代庁舎，県警庁舎被災時には災害対策本部機能を代替
- 自家発電・太陽光発電設備の設置



発災時の司令塔機能を発揮

高病原性鳥インフルエンザへの対応

- 香川県で発生(11/5)
→ 直ちに**24時間消毒ポイント設置**
養鶏農家へ消石灰・殺鼠剤配布
- 西日本を中心に続発 **600万羽超**
(過去最大 H22 **183万羽**)
- 県内発生を想定した**実践的防疫訓練**(12/7)
- **本県初の発生** (12/19 **2:00確認**)
・直ちに職員を派遣，殺処分開始
・同日**17:30**までに**全8,149羽**殺処分完了



発生に備えた防疫訓練(12/7)

**動員職員
延べ2,023人**

新たな発想による県有財産の有効活用を徹底

「旧県立海部病院」の新たな利活用

- 新型コロナウイルス感染拡大に備え、**宿泊療養施設**として**計60室**整備
- 自家発電設備等を整備
災害発生時には
 - ・ 津波避難所
 - ・ 応援職員の宿泊施設に活用
- 平時は、地域の健康づくりや地方創生の拠点として活用



「旧印刷センター」の有効活用

- 徳島新聞社から譲渡
 - 徳島沖洲IC，沖洲耐震強化岸壁に隣接
※徳島JCT～徳島沖洲IC間 (R3年度中開通予定)
 - **awa臨港プロジェクト**
 - ・ 災害時→**広域物資輸送拠点**
 - ・ 平時→スポーツ交流施設等
- 設計コンペを実施
R4年度中供用予定

交通結節点



「徳島県立木のおもちゃ美術館」整備

- 「あすたむらんど徳島」開園20周年記念事業
西日本初・木育サミットのレガシーとして
徳島の木の良さを丸ごと体験できる
新たな木育拠点を整備

都道府県立
全国初

R3年秋開館予定



「かんきつテラス徳島」開設 R2.8.24

- 旧果樹研究所のレガシーを受け継ぐ
かんきつ人材育成・にぎわい交流拠点
 - ・ 徳島かんきつアカデミーの研修拠点
 - ・ 宿泊機能を備えた滞在型施設
 - ・ サテライトオフィスの誘致



オレンジファクトリー



交流展示室